

学級担任と子どもとの信頼関係を築く

Approaching List 47



青森県総合学校教育センター

教育相談課 棟方 俊之

はじめに

児童生徒の自己肯定感を育むことが、学校生活での不適応感を覚える生徒への一次支援となり、自主性を育むことにつながると考え、「Approaching List 47」を作成しました。自己肯定感を育むためのポイントとして、まず他者との比較ではなく、個人の内なる変化に目を向け、その成長を認めることが大切であると考えます。またその視点が生徒との信頼関係を深化させていくものだと考えます。そのために、以下にいくつかのポイントをまとめましたので、ご参考にしていただき、生徒との関わり方の姿勢を意識していただければと思います。

- ・ **勇気づける関わりを意識します。**

「〇〇な子」というレッテルを貼らない

「どうして」（原因）よりも「どうしたいのか」（目的）が大切

「できないこと」よりも「できたこと」を見る

「周囲との比較」ではなく「その子の成長を認める」

「人格」の評価よりも「行動」に感謝する

Youではなく、Iメッセージで伝える。

「強制」ではなく、「提案」をする。

- ・ **リフレーミングを意識します。**

リフレーミングとは、ある枠組み（フレーム）でとらえられている物事の枠組みをはずし、異なる見方で肯定的に捉え直す（リフレーム）ことです。同じ物事でも人によって見方や感じ方が異なり、ある角度から見たら短所になり、別な角度からは長所にもなるという考え方です。

- ・ **生徒の貢献感を育む言葉かけを意識します。**

貢献感を育む母音の言葉～咄嗟の一言編～

「ありがとう」「いいね!」「うれしいな」「えっ!助かるよ!」「おかげさま」

会沢信彦・岩井俊憲編著 2014『今日から始める学級担任のためのアドラー心理学』を参考

学級担任用 自己評価カード		よくできたと思う	少しできたと思う	あまりできなかったと思う	できなかったと思う	
始業前	1	提出物などの確認をし、未提出の生徒に声かけをして、事情を聞く。	4	3	2	1
朝の会	2	生徒の表情を見て、学級の雰囲気を読み取ろうとする。	4	3	2	1
	3	生徒の前日の良かった所をもう一度振り返り、ほめる。	4	3	2	1
授業	4	生徒がいくら間違えても責めたりせずに、丁寧に教える。	4	3	2	1
	5	明るくにこやかに、嬉しいときは笑顔を見せるなどして、気持ちを豊かに授業をする。	4	3	2	1
	6	生徒が答えに困ったり間違えたりした時は、ヒントを与えるなど、生徒を支える工夫をする。	4	3	2	1
	7	生徒の良い所を認める。	4	3	2	1
	8	誰に対しても平等に接したり、指名したりする。	4	3	2	1
	9	学級のその日の雰囲気や出来事をわかっている。	4	3	2	1
	10	授業中に歩いて声をかけるなど、生徒の様子を見る。	4	3	2	1
	11	授業中の好ましくない事(「おしゃべり」「いたずら」「良くない授業態度」…)などを、必要な時はきちんと注意する。	4	3	2	1
休み時間	12	次の授業準備をするように声かけをする。	4	3	2	1
	13	1人でいる生徒がいなかを確認し、いたら声かけをする。	4	3	2	1
	14	雑談をしながら、授業の振り返りや生徒の困っている点などがなく、気にかける。	4	3	2	1
給食	15	食事のマナーを伝える。	4	3	2	1
	16	食が進まなかったり、偏っていたりする生徒に声かけをする。	4	3	2	1
	17	給食後片付けの係活動がうまく進んでいないところには声かけをしたり、手伝ったりする。	4	3	2	1
	18	教室環境が整ったかを確認し、活動を終えた生徒に感謝の気持ちを伝える。	4	3	2	1
昼休み	19	生徒と体育館や校庭で一緒に遊ぶ。	4	3	2	1
	20	学級レクを必要に応じて計画させ、学級全員が一体となって活動する機会をつくる。	4	3	2	1
	21	リラックスさせる時間であることも十分心得て生徒に対応する。	4	3	2	1
	22	生徒が楽しそうにしている時には、笑顔で見守るような態度を示す。	4	3	2	1
	23	昼休みは職員室に戻らず、なるべく生徒と関わるようにする。	4	3	2	1
	24	1人でいる生徒がいれば声かけをする。	4	3	2	1

学級担任用 自己評価カード		よくできたと思う	少しかけたと思う	あまりできなかったと思う	できなかったと思う
清掃	25 掃除の仕方の手本を見せる。	4	3	2	1
	26 清掃分担の役割の仕事をしている生徒に感謝の言葉をかける。	4	3	2	1
	27 清掃分担の場所がきれいになったことに、感謝の言葉をかける。	4	3	2	1
帰りの会	28 次の日の連絡を事務的にせず、楽しい雰囲気です。	4	3	2	1
	29 生徒の長所や努力していることを探し、そのことを本人や周りに伝える。	4	3	2	1
	30 元気のない生徒がいないかを確認し、いた場合はそのまま帰さず、話を聞く。	4	3	2	1
	31 「今頃どうしているかな」など欠席した生徒を心配している言葉かけや先生の気持ちを学級で話す。	4	3	2	1
	32 放課後の活動に目標をもたせるような話をする。	4	3	2	1
放課後	33 欠席者の机の中をみて、配布物などが入ったままになっていないかを確認する。	4	3	2	1
	34 放課後の活動は生徒だけに任せず、できるだけ一緒に活動する。	4	3	2	1
	35 部活動や委員会活動の中で、普通にできていることを認め、振り返りをする。	4	3	2	1
	36 一日の生活で気になった生徒への声かけをする。	4	3	2	1
	37 生徒が教室にもどってきていないかを確認する。	4	3	2	1
環境	38 机といすを生徒の体格に合わせるように気を配る。	4	3	2	1
学校生活全般	39 明るく笑顔であいさつをする。	4	3	2	1
	40 健康状態を観察し、調子が悪そうで元気のない生徒には声をかける。	4	3	2	1
	41 生徒が話す時には、その生徒に顔、体を向けて話を聞く。	4	3	2	1
	42 生徒が話す時には、相づちをうつなど、生徒の意見や考えを認めている様子がある。	4	3	2	1
	43 生徒が話しかけやすい雰囲気をつくる(例 穏やかな表情で、忙しそうにしない)。	4	3	2	1
	44 生徒が心地よく過ごせるように、教室環境を整える(例 掲示物がはがれていれば直し、教室にゴミが落ちていれば拾う)。	4	3	2	1
	45 手伝ってくれた時には「ありがとう」「嬉しい」「助かるよ」などと伝える。	4	3	2	1
	46 生活ノートなどで生徒に温かいコメントを書き、相談にのる。	4	3	2	1
	47 気軽に、生徒の相談にのる。	4	3	2	1